古里を元気に

椿太郎とやせガラスの会

過疎化が進む古里を元気にしようと、新上五島町の住民有志が地域おこしグループ「椿太郎とやせガラスの会」を結成した。奈良谷徹代表（31）は「町外の人の参加も歓迎している。力を合わせて地域活性化を頑張りたい」と意気込む。

「椿太郎とやせガラスの会」のメンバー ＝新上五島町青砂郷

住民有志が地域おこしグループ

「町外からの参加も歓迎」

奈良谷代表は、福祉事業を展開する会社、新上五島在宅ケアセンター（同町奈良郷）に所属する介護福祉士。自身は町内で進学や就職をしたが、自分が幼いころに比べ、近年どもたちが減少し、若者が島外に流出する現状に危機感を抱いていた。

今年に入って住民主体をできることがないかと同僚や友人に呼び掛け、今月1日、グループ発足にこぎつけた。現在、会員は同センター職員のほか町職員や口蓋考3計約30人で、年齢も20～60代と幅広い。会の名称は、会員代表らが町内でお年寄りらに寸劇を披露している劇団の名前から取った。

今後は観光ガイドや清掃のボランティアなどに取り組む。これまで同センターの事業としてやってきた子ども向けのスポーツ大会も引き継ぐ。

年齢や性別などお加養格は問わない。入会金2千円が必要。問い合わせは同センター（☎0959・43・1155）。

（山本陽一）

県北 対馬、壱岐、五島 佐世